

住宅用分電盤 パールテクト 分岐横二列タイプ専用 1次送りユニット 施工説明書

●ご使用前に施工説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
●この施工説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの施工説明書と住宅用分電盤の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて熟知してからご使用ください。この施工説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

- 危険**：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を招く可能性が想定される場合。
注意：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、傷害を招く可能性が想定される場合及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお **注意** に記載した事項でも、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。

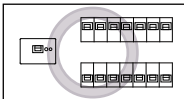
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工上のご注意

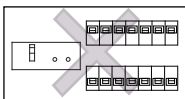
⚠ 注意	
禁止	●高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動衝撃など異常な環境に設置しないでください。感電、火災、不動作のおそれがあります。
厳守	●取替時は、ねじの落下に注意し、紛失しないように管理してください。ねじが落下し分電盤内部に入り込むと短絡するおそれがあります。 ●電気工事は、有資格者（電気工事事）が行ってください。 ●配線作業は上位ブレーカを切り、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電または短絡のおそれがあります。 ●ゴミ、コンクリート粉、鉄粉等の異物および雨水等が分電盤、ブレーカ内部に入らないように施工してください。 ●感電、火災、不動作のおそれがあります。 ●導体部の接続ねじは、適正締めトルク範囲内で確実に締め付け、必ず増締めを行ってください。火災になるおそれがあります。 ●電線サイズは、最大想定負荷電流に適合したものを使用してください。火災になるおそれがあります。

1 対象の住宅用分電盤 施工前に対象の分電盤を確認してください。

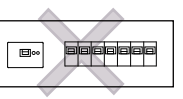
⚠ 注意	
厳守	●1次送りユニットはテンパール工業製住宅用分電盤パールテクト分岐横二列タイプ専用です。主幹ブレーカが30A Fの分電盤、パールテクト分岐横一列タイプ、テンパール工業製の他の分電盤、他社製分電盤には取付できません。



パールテクト
分岐横二列タイプ



主幹ブレーカが30A Fの分電盤



パールテクト
分岐横一列タイプ

2 取付可能な1次送り用ブレーカ（別途お買い求めください）

⚠ 注意	
禁止	●取付可能な1次送り用ブレーカ以外は取り付けしないでください。住宅用分電盤、1次送りユニットが破損するおそれがあります。

■1次送り用ブレーカは1次送りユニットには同梱されていません。下表を参考に別途お買い求めください。

	極数 (P) ・ 素子数 (E)	型式	定格電流	定格使用電流	ご注文品番
配線用遮断器	2P1E	BC-1NA	15A	—	BC1NA15
			20A	—	BC1NA20
	2P2E	BC-2NA	15A	—	BC2NA15
			20A	—	BC2NA20
漏電遮断器	2P2E	GBC-2NA	30A	—	BC2NA30
			15A	15mA	C2NA1515
				30mA	C2NA1530
			20A	15mA	C2NA2015
				30mA	C2NA2030
			30A	15mA	C2NA3015
		30mA	C2NA3030		

3 施工前の注意事項

■施工の際に用いるドライバはねじの呼びに対応するドライバを使用してください。（右表参照）間違ったドライバを使用すると、ねじが破損するおそれがあります。

ねじの呼び	M3～M5	M6、M8
ドライバのサイズ	No. 2	No. 3

4 同梱部品

<p>部品1 1次送りユニット …… 1個</p> <p>100V回路の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1次送りユニット 主幹HEC100V ●1次送りユニット 主幹HKC100V <p>M6サイズ</p> <p>[主幹ブレーカ 50AF、60AF用]</p>	<p>200V回路の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1次送りユニット 主幹HEC200V ●1次送りユニット 主幹HKC200V <p>M8サイズ</p> <p>[主幹ブレーカ 50AF、60AF用] [主幹ブレーカ 75AF、100AF用]</p>	<p>部品2 取付ねじ M4×8 …… 1個 1次送りユニット取付用</p> <p>部品3 ハンドルキャップ …… 1個</p>
---	---	--

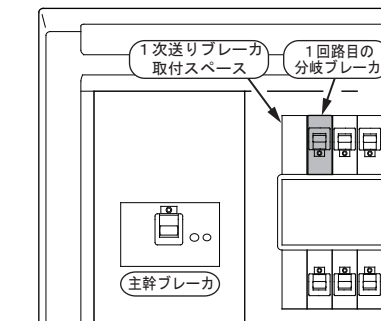
5 取付手順

⚠ 注意	
厳守	●取替時は、取り外した部品の落下に注意し、紛失しないように管理してください。部品が落下し分電盤内部に入り込むと短絡する恐れがあります。

1次送りユニットは主幹HECとHKC、100V回路と200V回路によって形状が異なるので、本説明書では主幹HEC、1次送りユニット200V回路の場合を例に手順を説明します。

1 準備

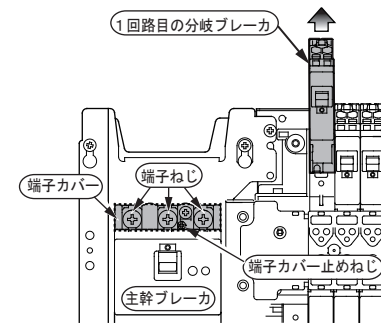
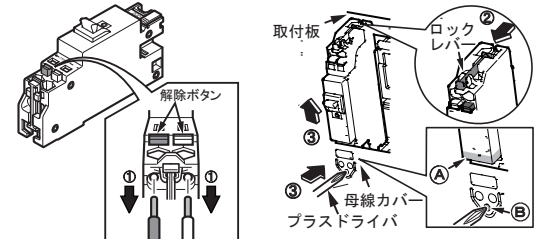
- 上位ブレーカ及び主幹ブレーカを切り、電気がきていないことを確認する。
- 主幹ブレーカ1次側の端子カバー止めねじを緩める。
端子カバー止めねじを取り外した場合、落下し、短絡のおそれがあるため緩めるだけにしてください。
- 主幹ブレーカの1次側の端子カバーを取り外す。
- 主幹ブレーカの1次側の端子ねじを取り外す。
- 主幹ブレーカの1次側に電線が接続してある場合は電線を取り外す。
- 1回路目の分岐ブレーカの2次側に電線が接続してある場合は電線を取り外す。（取り外し方法は下図参照）
- 1回路目の分岐ブレーカを取り外す。（取り外し方法は下図参照）



注意 ・取り外した端子カバー、端子ねじ、1回路目の分岐ブレーカは後で再度使用するため、紛失しないでください。

1回路目の分岐ブレーカの取り外し方法

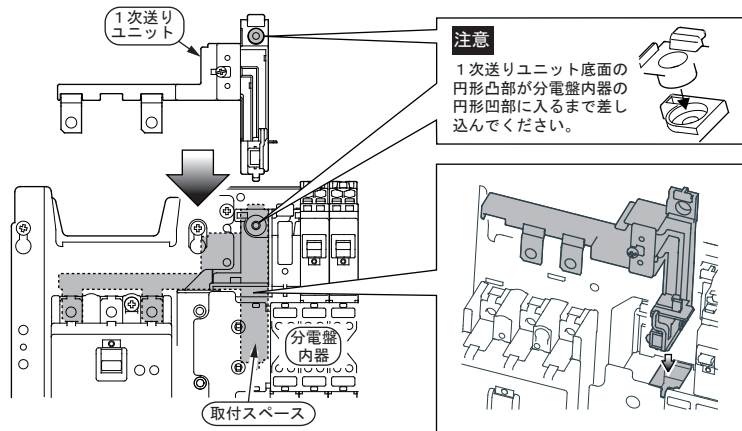
- 1回路目の分岐ブレーカの2次側に電線が接続してある場合、解除ボタンを押しながら電線を引き抜く。
 - ロックレバーを上げる。
 - 指を(A)部につけ、ブレーカを引き上げながら、プラスドライバで(B)部を押し、ブレーカを取り外す。
- ※プラスドライバはNo. 2またはNo. 3を使用してください。



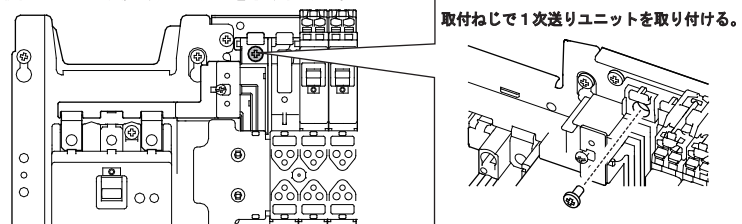
⚠ 注意	
厳守	●必ず1回路目の分岐ブレーカを取り外してから、1次送りユニットを取り付けてください。1回路目の分岐ブレーカを取り外さずに1次送りユニットを取り付けると、1回路目の分岐ブレーカ、1次送りユニットが破損するおそれがあります。

2 1次送りユニットの取り付け

(1) 下図の取付スペースに1次送りユニットを上側から差し込み、分電盤内器にセットする。



(2) 付属の取付ねじで1次送りユニットを取り付ける。

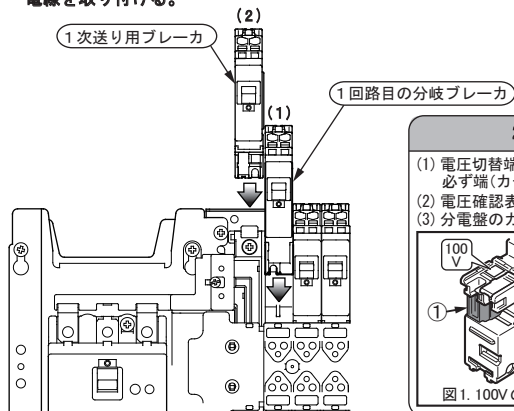


3 1回路目の分岐ブレーカ、1次送り用ブレーカの取り付け

(1) 1で取り外した1回路目の分岐ブレーカを右図を参照して分電盤内器に取り付ける。取り付けの際は、1次送り用ブレーカと間違えないよう注意してください。誤動作や不動作のおそれがあります。

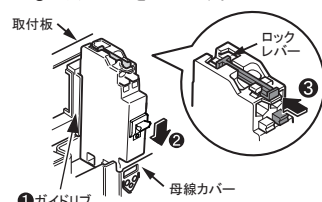
(2) 1次送り用ブレーカの電圧を下図を参照して切り替え、1次送りユニットに右図を参照して取り付け。
ただし、1次送りユニットが100V回路の場合は、電圧を切り替えずにそのまま取り付けてください。
また、1次送りユニットに取り付けるブレーカを間違えた場合は2ページ下部の1回路目の分岐ブレーカの取り外し方法を参考に、ロックレバーを上げ、指をA部にかけて直接引き抜いてください。

(3) 1回路目の分岐ブレーカの2次側に電線を接続する場合は電線を取り付ける。



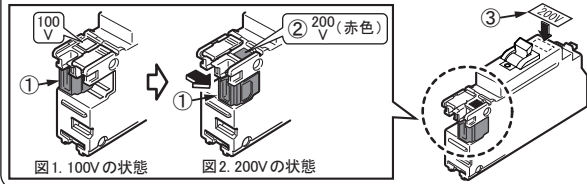
1回路目の分岐1次送り用ブレーカの取り付け方法

- 1 ブレーカをガイドリブの間に置きます。
- 2 ブレーカをガイドリブに沿って奥まで差し込みます。
- 3 ロックレバーを下ろします。



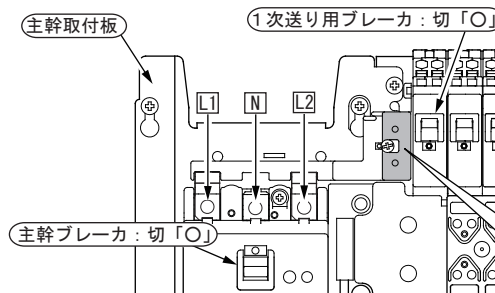
200V回路への切替方法(2P2Eのみ)

- 1 電圧切替端子①を矢印方向にスライドします。必ず端(カチッ)と音がするまでスライドさせてください。
- 2 電圧確認表示②が200V(赤色)になっていることを確認します。
- 3 分電盤のカバー裏面に貼付している200Vシール③を貼付します。



4 取付後の確認

・主幹ブレーカ、1次送り用ブレーカを切「O」にして、絶縁抵抗測定(500V以下)を行ってください。



100V回路の場合

- ・異極間 (N-L2)
- ・対地間 (L2- 主幹取付板)
- ・対地間 (N- 主幹取付板)

200V回路の場合

- ・異極間 (L1-L2)
- ・対地間 (L2- 主幹取付板)
- ・対地間 (L1- 主幹取付板)

注意

●1次送り用ブレーカを取り付け後、1次送りユニットの絶縁抵抗値の確認を行ってください。異物の混入等によって絶縁抵抗値に異常がある場合、感電、短絡のおそれがあります。

注意

●必ず施工後に1次送りユニットの接続部端子ねじの増し締めを行ってください。

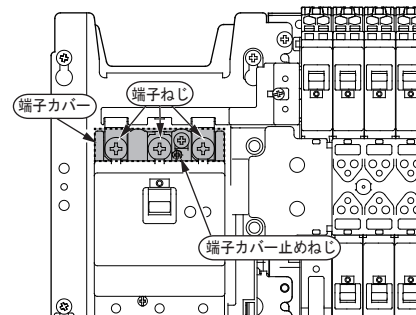
①接続部フラップのフラップ止めねじを1~2回転緩め、フラップを開く。
②接続部端子ねじ(2箇所)を増し締める。
③フラップを閉め、フラップ止めねじで締め付ける。

①、③フラップ止めねじ
②接続部端子ねじ

締付けトルク: 3.0 ~ 4.0 (N・m)

5 1で外した部品の取り付け

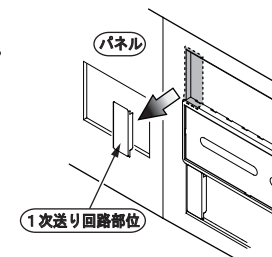
- (1) 主幹ブレーカの1次側に電線を接続する場合は電線を取り付ける。
- (2) 1で取り外した主幹ブレーカの端子ねじを1次側に取り付ける。(下記締付けトルク参照)
- (3) 取り外した端子カバーを取り付け、端子カバー止めねじを締め付ける。



【締付けトルク】	50AF(M5)	: 2.0~2.5 N・m
	60AF(M6)	: 3.0~4.0 N・m
	75AF、100AF(M8)	: 5.5~7.0 N・m

6 パネルのカット加工

・分電盤のパネルの1次送り回路部位をベンチ、カッター等を使用し、切り離す。
(バリが残った場合はカッター等で仕上げてください)



7 ハンドルキャップの取り付け

・1次送り用ブレーカのハンドル操作禁止を表示する場合は付属のハンドルキャップを取り付ける。



テンパール工業株式会社

■本店 〒732-0802 広島市南区大州3-1-42
代表 TEL(082)282-1341 FAX(082)282-8680

技術問い合わせ窓口 TEL(082)287-9110 FAX(082)283-4534
受付時間 9:00 ~ 17:30 [月曜日~金曜日(祝・祭日、弊社休業日を除く)]